

私たちの活動や意見を仲間で共有します。会費は県と日本平和委員会の活動も支えます。

土浦平和の会ニュース

2019年10月15日 第332号

発行：土浦平和の会

事務局：土浦市烏山2-530-296

HP://heiwatutira.web.fc2.com/



10月15日 秋の一斉平和宣伝行動

早朝、県内駅頭で一斉宣伝

「東海第二原発の再稼働反対」

「憲法9条改悪、辺野古新基地建設許さない」



秋の茨城県平和委員会の県内宣伝行動は、10月15日早朝、県内の主要駅頭で一斉に行なわれました。土浦平和の会の担当は土浦駅。会員など5人が参加し駅利用者にピラを配布しました。

茨城県平和委員会作成のピラには、
①9条に自衛隊を書き込むこと

で「戦争できる」軍隊になる
②沖縄は基地など望んでいない。でも反映されない民意
③東海第二原発が事故を起こせばもうここには住めない、帰れない
の3つの主張が掲載され、さらに安倍政権の間違った政策について日常生活の視点から解き明かしています。

3000万人署名 憲法共同センター 統一行動すすむ



土浦駅頭宣伝・署名、月一継続中です。是非ご参加を。

安倍内閣の主要閣僚や日本会議系の議員らの改憲策動が強まっています。空前の台風被害で多くの国民が苦しんでいる最中に、国民が望んでもいない改憲に執念を燃やす安倍政権は退場させるしかありません。“あきらめないたたかい”が求められています。

- 8月行動 29日(木)午後3:00～
- 9月行動 26日(木)午後3:00～
- 10月行動 24日(木)午後3:00～
- 11月行動日未定です。追ってご連絡いたします。

共同センターの統一行動は昨年1月からの通算で50回(9月末までに達しました)

講演会 どなたでもご参加いただけます 村上達也 元東海村長が語る 東海第二原発は絶対にダメだ

日時：11月10日(日)
14:00～16:00

会場：霞ヶ浦医療センター
土浦市下高津2-7-14

当日連絡先 090-6718-7755

参加費：一般300円、学生無料
駐車料金：100円

主催：ニコニコデイト(事務局-茨城県保険医協会内「核戦争を防止し平和を求める茨城医療人の会」)



1943年生まれ。
一橋大学卒業。
元東海村長(8年)
脱原発首長会議
共同代表

憲法改正への機運高める動き、急ピッチ

自民党の岸田政調会長は10月16日、憲法改正をテーマにした地方政調会を埼玉県でスタートさせ、その後広島県、福島県でも開催するとしました。地方議員との意見交換などを通じ改憲に向けた機運を高めるのが狙い。「多くの国民が憲法を考えるきっかけになれば」と語っています。同時に稲田元防衛大臣などの改憲策動も報じられています。

どの世論調査でも改憲ノーが多数。いま国民が望んでいるのは、激甚災害からの早急な復興と関電などブラックマネーの事実解明です。

平和の旅 秋の栃木 (川治温泉など) 参加枠まだあります

日程 11月12日(火)・13日(水)

費用 2万円(交通費/ホテル代/入館料等)

募集人数 30名

申込先 近藤輝男 080-1987-4050

森泉弘子 080-1084-7428

福田勝夫 090-3537-2632

古澤 明 090-6509-1223

福田洋子 090-8314-3934

前号に詳細



東海第2原発の再稼働の是非を問う

県民投票の実現に向け、土浦平和の会も全力を

署名開始は来年1月を予定、6月県議会へ提出の方針

東海第二原発再稼働の是非を問う県民投票について 2019年10月 土浦平和の会

1. 東海第二原発の再稼働に向けての動き

①昨年11月、原子力規制委員会は40年を超える老朽化した東海第二原発の稼働延長を認めた。日本原電と東京電力は2023年1月に再稼働を目指し、防潮堤など安全工事や周辺自治体の住民説明会などで、再稼働に向けての準備を進めている。

②東海第二原発の再稼働には県、東海村、周辺自治体の同意が必要としているが、大井川知事や周辺自治体の首長は再稼働の是非については明言を避けている。

2. 東海第二原発再稼働反対は県民の願い

①どの世論調査からも県民の7割近くが東海第二原発再稼働に反対。

②東海第二原発の廃炉・再稼働反対のたたかいは、県平和委員会や土浦平和の会にとっても最重要課題である。これまで、多くの市民団体と協力共同で署名、宣伝行動、自治体要請、集会など再稼働反対運動に取り組んできた。

③県民の願いに答えるためにもこれまでの取り組みの経過からしても再稼働の動きを黙認することはできない。

3. 有力な手段としての県民投票

①本年3月、いばらき原発県民投票の会は、東海第二原発の再稼働の是非を問う県民投票条例の制定を求める運動を開始した。これは再稼働の是非に対し、県民が直接に意思表示できる条例の制定を県議会に求めるものである。

②「県民投票の会」は各地区で「県民投票カフェ」を開き、県民投票や原発についての学習、署名協力者（受任者）の募集など行っている。

③「県民投票の会」は「東海第二原発の再稼働の是非を問う県民投票の実現を目指す」という一点で集まった市民有志の集まりであり、再稼働に賛成の人も参加できるようにとの配慮から、再稼働反対の団体とは一定の距離をおいていた。しかし、運動の広がりや受任者募集の遅れ、各団体からの助言などから、「反対の運動を進めてきた多くの団体や政党、生協を含め、幅広い運動を展開しないと成功は難しい」という認識に立ち、様々

な団体との連携を進めることとした。

4. 県民投票に対する茨城県平和委員会および土浦平和の会の見解

①茨城県平和委員会は2019大会方針で、東海第2原発の再稼働反対に多くの団体、市民と協力し、県民世論を高める取り組みとして県民投票実現を掲げている。定期大会や第2回理事会での討論を通し、東海第二原発に再稼働反対に大きな力を発揮する「県民投票」を成功させるため市民や各種団体と共同して運動を進めていく必要があることを再確認した。

②土浦平和の会も6月の定期大会で東海第二原発再稼働反対の立場から県民投票の会と連携し県民投票条例の制定、県民投票の実現に取り組むことを方針に掲げている。

③「県民投票の会」と再稼働反対の立場を明確にしている我々とは、県民投票の実現という目標の一致点で共有することが可能で、ともに運動を進めることが県民の願いにも応えることになる。

5. 県民投票の目標について

①請願署名数目標は全県で有権者の1/50以上14万人、「受任者」目標は全県で3500人。土浦では署名7000人、受任者は250～500人。8月末現在の受任者は1331人。

②署名開始は来年1月を予定し、6月議会への提出をめざします。

秋の諸行動目白押し

憲法9条を守ろう！命と暮らしを守る

県南大集会 恒例の10・21集会として計画されました

講演：岩槻康範氏（日本平和委員会事務局次長）

日時：11月1日(金) 18:30～

会場：つくばイノベーションプラザ 3F 10・21実行委員会主催

STOP! 東海第二原発の再稼働

いばらき大集会

福島・茨城からの訴え、アピールデモなど

日時：11月16日(土) 13:30～

会場：水戸駿優教育会館 8F（水戸市三の丸1-1-42）

実行委員会主催、五十嵐つくば市長など県内8首長賛同、元県医師会長、県生協連会長理事など賛同

台風19号被害 お見舞い申し上げます

亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、被害に遭われた皆様に心からお見舞いを申し上げます。



【平和の会へのおさそいを。「平和新聞」購読も広げましょう】

- 幅広い年代からの加入を勧めましょう。ご家族・ご近所・友人・知人などにお声かけを
- 「平和新聞」（毎月5、15、25日発行）月額400円